

(電子メール施行)
農 技 第 1 5 3 4 号
令和 4 年 9 月 7 日

各関係機関長 様

兵庫県病害虫防除所長

病害虫発生予察防除情報 第 5 号を下記のとおり発表します。

8月の降水量が多く、ダイズべと病が発生しています。現地での防除指導にご
配意願います。

令和 4 年度 病害虫発生予察防除情報 第 5 号

ダイズ ベと病の防除対策について

- 1 対象作物 ダイズ
- 2 病害虫名 べと病
- 3 発生地域 県南部地域 (丹波地域を含む)
- 4 発生状況と今後の予想

(1) 8月下旬の発生調査では、ダイズべと病の発生が発生圃場率 33.3% (平年値 12.4%) と平年と比較して多かった。これを受けて8月 29 日に緊急巡回調査を行ったところ、調査圃場の 80.0%で発生が認められた。また、9月 2 日に行った県予察圃調査では発生株率 64.0% (平年値 0.4%) と平年を大きく上回った。



写真 ダイズべと病罹病葉 左：葉表 中：葉裏 右：病斑上の菌そう

- (2) **8月の降水量は176.5mm（平年値：132.5mm、福崎アメダス）で平年の133%と多い。**大阪管区気象台（9月1日付）発表の近畿地方の1か月予報によると、9月の降水量は平年並かやや多い確率がそれぞれ40%と一定の降雨が見込まれるため、気温の低下に伴い、今後、発生がさらに増加するおそれがある。

5 発生生態及び被害の状況について

ダイズベと病は糸状菌で、比較的冷涼で雨が多いときに発生する。葉では、円形または不規則な形の黄白色の病斑ができ、裏面には灰色の菌そうを形成する。密植など、風通しが悪いと発病を助長する。病徴は主に葉で見られ、子実も侵される。子実が侵されると外観品質が低下し、粒張りが悪化する。種子や被害茎葉で越冬し、次年度の伝染源となる。

6 防除対策について

- (1) **防除適期は開花10日前～子実肥大期である。**
- (2) 発病初期からの薬剤防除を徹底する。
- (3) 次年度作の対策として、被害茎葉の適切な処分、多発した圃場での連作の回避を実施する。
- (4) 防除薬剤については、兵庫県農薬情報システムを参考に選定し、農薬使用基準を遵守する。

兵庫県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>

この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載

<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222